

米国株下落、大型ハイテク株高は行き過ぎとの疑念が浮上

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	10月31日	10月30日	前日差
日本	日経平均株価(円)	39,081.25	39,277.39	-196.14
	- CME日経平均先物(円)	38,350.00	39,295.00	-945.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,695.51	2,703.72	-8.21
	参考) 東証REIT指数	1,682.36	1,687.88	-5.52
米国	NYダウ(米ドル)	41,763.46	42,141.54	-378.08
	S&P500	5,705.45	5,813.67	-108.22
	- S&P500配当貴族指数	4,727.83	4,770.03	-42.20
	ナスダック総合指数	18,095.15	18,607.93	-512.78
ドイツ	DAX®指数	19,077.54	19,257.34	-179.80
英国	FTSE100指数	8,110.10	8,159.63	-49.53
豪州	S&P/ASX200指数	8,160.03	8,180.36	-20.33
中国	上海総合指数	3,279.82	3,266.24	13.59
香港	ハンセン指数	20,317.33	20,380.64	-63.31
インド	S&P BSE SENSEX指数	79,389.06	79,942.18	-553.12
ブラジル	ボベスパ指数	129,713.33	130,639.33	-926.00
先進国	MSCI WORLD	3,647.14	3,706.29	-59.15
新興国	MSCI EM	1,119.52	1,126.51	-6.99
商品	(単位:米ドル)	10月31日	10月30日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	69.26	68.61	0.65
金	COMEX先物(期近物)	2,749.30	2,800.80	-51.50
10年国債利回り	(単位:%)	10月31日	10月30日	前日差
日本		0.935	0.950	-0.015
米国		4.285	4.301	-0.016
ドイツ		2.390	2.388	0.002
オーストラリア		4.504	4.465	0.039
為替(対円)	(単位:円)	10月31日	10月30日	前日比%
米ドル		152.03	153.42	▲0.91
ユーロ		165.48	166.55	▲0.64
英ポンド		196.12	198.86	▲1.38
カナダドル		109.13	110.35	▲1.10
オーストラリア(豪ドル)		100.07	100.83	▲0.75
NZ(ニュージーランド)ドル		90.86	91.61	▲0.82
シンガポールドル		115.20	115.96	▲0.66
中国人民幣元		21.362	21.535	▲0.80
インドルピー		1.8115	1.8216	▲0.55
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9685	0.9769	▲0.86
メキシコペソ		7.588	7.612	▲0.33
ブラジルリアル		26.273	26.624	▲1.32
トルコリラ		4.421	4.472	▲1.14
ロシアルーブル		1.5630	1.5820	▲1.20

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。
 出所) MSCI、Bloombergより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年10月31日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

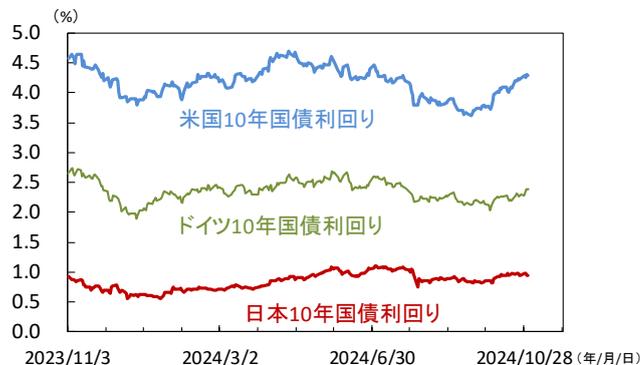
- 日本株下落。日銀金融政策会合で、海外経済や市場動向を注視すると示すも、金融正常化姿勢の継続が確認され円高進行。電機・輸送用機器など輸出関連株軟調。
- 中国国家統計局の10月購買担当者景気指数(PMI、業況改善・悪化の境目50)は製造業50.1と6カ月ぶりに50台回復。非製造業も50.2へ小幅上昇し、景気安定化の兆し。
- ユーロは対米ドルで上昇。10月ユーロ圏消費者物価総合の前年比は+2.0%(9月:+1.7%)へ予想以上に加速。
- 米国株続落。米マイクロソフト中心にハイテク株軟調。人工知能(AI)向け巨額投資に見合う収益性に疑念も。米国の9月経済指標は中古住宅販売仮契約指数が前月比+7.4%と急伸、個人消費支出(PCE)が前月比+0.5%と予想上回り消費堅調を確認。PCEデフレーターの前年比は総合が+2.1%に鈍化も、食品・エネルギー除くコアが+2.7%に小幅加速し、インフレ圧力残存を示唆。

◆本日の注目点:

株式は米利下げ期待を後押しする指標を歓迎?

米国で10月ISM製造業景気指数と雇用統計を公表。前者は47.6へ上昇も24カ月連続50割れ、後者はハリケーンやボーイング社従業員ストの影響で非農業部門雇用者数は前月差+10.0万人と弱めの予想。足元は米景気堅調を示す指標多く利下げ観測が後退。むしろ利下げ期待を支える緩慢な景気回復は米国株に好都合か。(瀧澤)

主要国金利の動き



注) 直近値は2024年10月31日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年10月31日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会